令和８年度予算第一特別委員会質問要旨

〇　局別審査　　　　　　令和８年３月６日

質問者（質問順）

１	横　溝	じゅんこ	委　員	（国　民　主）
２	大和田	あきお	委　員	（共　産　党）
３	関	勝　則	委　員	（自　民　党）
４	中　島	光　徳	委　員	（公　明　党）
５	髙　田	修　平	委　員	（立　憲　党）
６	いそべ	尚　哉	委　員	（維　新　会）
７	長谷川	えつこ	委　員	（長　谷　川）

国　際　局

局 別 審 査

１　横　溝　じゅんこ　委員（国民主）

１　グローバル都市戦略の推進について
（１）機構改革を踏まえたグローバル都市戦略の進め方について伺いたい。
（２）海外向けの都市ブランディングを行う上での、経済成長と観光発展における現状の課題について伺いたい。
（３）令和８年度に行う都市ブランディング・プロモーションの取組について伺いたい。

２　サーキュラー都市国際展開事業について
（１）国際機関と連携を深めていく上での課題について伺いたい。
（２）令和７年度の国際機関との連携実績について伺いたい。
（３）令和８年度はこれまでの実績を生かしつつ、さらに国際機関との連携を強化すべきと考えるが、見解を伺いたい。

３　外国人材受入・多文化共生について
（１）全国と比べた国籍や在留資格の特徴について伺いたい。
（２）多文化共生の取組は地域特性を踏まえて進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
（要望）地域社会において相互理解を深めていく取組をさらに進めていただきたい。

２　大和田　あきお　委員（共産党）

１　国際平和への貢献について
（１）国際平和のこれまでの取組について伺いたい。
（２）局再編後の令和８年度予算と取組内容について伺いたい。
（３）米国・イスラエルとイランの武力衝突についての見解を伺いたい。
（４）米国とイスラエルによるイランへの先制攻撃は、国際法違反であり国連憲章違反であるが、市として国際法は順守するべきものと捉えているか、見解を伺いたい。
（要望）世界の国際法違反の情勢に対して、横浜市として今後、国際平和への貢献について取り組んでいただきたい。

２　外国人に対する差別・排外主義への取組について
（１）外国人に対する差別や排外主義に対する見解について伺いたい。
（２）差別・排外主義を許さないとする市民団体の活動についての考えを伺いたい。
（３）差別意識や排外主義が拡大しないよう、多文化共生にしっかり取り組むことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
（要望）外国人のみならずマイノリティーの方たち全てを含め、改めて市民の声を重視して、市としても差別禁止・ヘイトスピーチ罰則条例の制定を検討すべきと考えるので、今後も深く考えていただきたい。

３　関　　　勝　則　委員（自民党）

１　国際局予算編成の基本的な考え方について
（１）令和８年度の国際局予算編成の考え方について伺いたい。
（２）組織再編後も本市の国際施策をこれまで以上に進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

２　グローバル都市の推進について
（１）市民の皆様に世界をより身近に感じていただける機会の創出について伺いたい。

３　ＴＩＣＡＤ９横浜開催のレガシーを生かしたグローバル都市の推進について
（１）ＴＩＣＡＤ９横浜開催を契機に行った令和７年度の次世代育成の特徴及び成果について伺いたい。
（２）ＴＩＣＡＤ９のレガシーを生かした令和８年度の取組について伺いたい。
（３）今後のアフリカとの連携をどのようにグローバル都市戦略の推進につなげるのか伺いたい。

４　アジア太平洋循環型都市フォーラムについて
（１）14回にわたりアジア・スマートシティ会議を開催してきた所感について伺いたい。
（２）アジア太平洋循環型都市フォーラムを新たに開催する狙いについて伺いたい。
（３）循環型都市として国際展開を進めていく意気込みについて伺いたい。
（要望）国際局がこれまで培ってきた実績と国際的なネットワークを最大限に生かして、庁内をリードして取組を推進していただきたい。

５　ＡＰＵＦ－９の開催について
（１）ＡＰＵＦは何を目的とした会議なのか伺いたい。
（２）ＡＰＵＦを横浜市が共催する狙いについて伺いたい。
（３）ＡＰＵＦ開催に向けた令和８年度の取組について伺いたい。
（４）庁内の関係局を巻き込むとともに、日本政府の関係省庁としっかり連携していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

６　Ｙ－ＰＯＲＴ事業について
（１）Ｙ－ＰＯＲＴ事業のこれまでの実績について伺いたい。
（２）新たなグローバル都市戦略におけるＹ－ＰＯＲＴ事業の進め方について伺いたい。
（３）令和８年度のＹＵＳＡとの連携の進め方について伺いたい。
（要望）政策経営局が持つ政策を推進する強みを生かし、市内企業が実際のビジネスを形にできるところまで、これまで以上に伴走していただきたい。

７　自治体外交について
（１）姉妹・友好都市等の自治体との直近10年間の交流実績について伺いたい。
（２）海外の自治体との交流・連携を進める上での課題について伺いたい。
（３）海外の自治体との交流・連携を、今後どのように展開していくのか伺いたい。

８　外国人政策について
（１）本市が多文化共生施策を進める上での現状の課題について伺いたい。
（２）外国人に日本の制度や本市のルールを伝える取組をさらに強化していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

４　中　島　光　徳　委員（公明党）

１　グローバル都市の推進について

（１）グローバル都市の推進を観光振興や経済成長と連動させる狙いについて伺いたい。

（２）関係局がこれまで以上に連携し、横浜の強みや魅力を国際社会へ発信していくべきと考えるが、見解について伺いたい。

２　国際会議を通じたシティプロモーションについて

（１）アジア・スマートシティ会議2025の海外都市・機関等の参加実績について伺いたい。

（２）アジア・スマートシティ会議2025での参加者満足度を高める取組について伺いたい。

（３）今後も国際会議の機会を捉えて、横浜の魅力を一層ＰＲすべきと考えるが、見解について伺いたい。

（要望）国際会議の機会を捉え、ゲストへの工夫を凝らしたおもてなしを行うとともに、戦略的に本市をＰＲしていただきたい。

３　市内国際機関との連携について

（１）ＩＴＴＯ横浜誘致40周年の所感について伺いたい。

（２）令和８年度のＩＴＴＯ理事会での本市の取組について伺いたい。

（３）市内国際機関と連携した令和８年度の次世代交流の取組について伺いたい。

（要望）人と人とのつながりを深め、横浜らしいおもてなしによる友好親善・交流を進めることは国際平和の根幹に資するという認識のもと、市内国際機関とさらなる連携を深めていただきたい。

４　海外諸都市との交流について

（１）令和８年度の海外諸都市との交流における教育委員会事務局と連携した次世代向けの取組について伺いたい。

（２）GREEN×EXPO 2027と連動した、市民レベルの国際交流機会の創出の考え方について伺いたい。

（要望）世界とつながる横浜の魅力を市民の皆様がより実感できるよう、サンディエゴをはじめとする海外諸都市との交流をさらに深めていただきたい。

５　外国人支援について

（１）多文化共生総合相談センターに、令和６年度に寄せられた外国人住民からの相談内容や困り事について伺いたい。

（２）外国人を雇用する企業との関わりを持つべきと考えるが、見解を伺いたい。

（３）外国人労働者の支援を推進するために、経済局のみならず庁内の連携を強化すべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）これからも多文化共生社会の実現に向けて、力強く取り組んでいただきたい。

６　国際平和の推進について

（１）令和８年度の国際平和推進事業の取組について伺いたい。

（２）２局が連携した国際平和の取組の進め方について伺いたい。

（３）国際平和の推進に関する条例に基づく取組を一層推進する決意について伺いたい。

（要望）ピースメッセンジャー都市として、先頭に立って取り組んでいただきたい。

５　髙　田　修　平　委員（立憲党）

１　グローバル都市の推進における海外活力の取り込みについて
（１）グローバル都市戦略で進める海外活力の取り込みのターゲットについて伺いたい。
（２）海外大学の誘致やパートナーシップ締結に向けた課題について伺いたい。
（３）グローバル人材育成の視点からも、海外大学等の誘致やパートナーシップ締結を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
（４）グローバル都市戦略の推進に向けて、国際的なバックグラウンドを持つ職員を増やしていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

２　外国人の活躍促進について
（１）国際交流ラウンジで実施している外国人活躍に関する取組について伺いたい。
（２）地域社会や行政との橋渡し役となる外国人人材を発掘し、外国人住民の地域での活躍を促進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

３　次世代に向けた国際平和の啓発について
（１）国際平和の取組への若い世代の参画状況について伺いたい。
（２）世界の視点から平和を議論できる環境づくりが重要と考えるが、見解を伺いたい。

４　ウクライナ避難民支援について
（１）ウクライナ避難民の現在の生活状況について伺いたい。
（２）避難民の皆様の地域等とのつながりについて伺いたい。
（３）令和８年度のウクライナ避難民支援の方向性について伺いたい。

（要望）横浜での暮らしが避難民の皆様にとって引き続き安定したものであるよう、また、横浜で暮らす間はここを故郷と同じように思っていただけるよう取り組んでいただきたい。

６　いそべ　尚　哉　委員（維新会）

１　グローバル都市ブランディングについて
（１）グローバル都市戦略において、都市ブランディングの面で新たに強化するポイントについて伺いたい。
（２）GREEN×EXPO 2027等の国際イベントを、本市の都市ブランド向上にどのように結び付けていくのか伺いたい。
（３）本市が構築した国際的ネットワークを資産として活かすべきと考えるが、見解を伺いたい。
（４）市長の国際発信を単発のメッセージで終わらせず、本市の都市ブランドの向上に向けて戦略的に活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。
（要望）グローバル都市戦略の推進に、人材とネットワークの資産化、そして継続的な国際発信を組み合わせ、GREEN×EXPO 2027を契機として横浜市の都市ブランドをさらに高みへ押し上げる戦略的な展開をしていただきたい。

２　サーキュラー都市の国際展開について
（１）市内でのサーキュラーリンクの取組とグローバルな都市ネットワークの動きを連動させて推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
（２）アジア太平洋循環型都市フォーラムを通じた市内企業の海外ビジネス機会の創出について伺いたい。
（要望）都市間ネットワークという信頼の基盤のうえに、本市企業の技術やノウハウを乗せることができれば、循環政策は国際貢献であると同時に経済戦略になると考えるため、戦略的に推進していただきたい。

３　海外事務所運営について

（１）海外事務所を通じたGREEN×EXPO 2027への海外誘客の取組について伺いたい。

（２）海外事務所の活動を市民により分かりやすく伝えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）GREEN×EXPO 2027を契機に、海外事務所を都市戦略の中で一層効果的に運営していただきたい。

７　長谷川　えつこ　委員（長谷川）

１　横浜市のグローバル人材育成について

（１）令和７年度に国際局が行った、若者の海外への挑戦を支援する取組について伺いたい。

（２）局の垣根を越え、横浜の国際的なリソースを十分に活用しながら次世代育成を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）本市が持つピースメッセンジャーという称号への誇りや志が次世代にしっかりと根付くよう、横浜の豊かな資源を最大限に活用し、局の縦割りを超えて連携しながら取組を進めていただきたい。